



平成 26 年 5 月 15 日

報道各位

2014 54th ACC CM FESTIVAL 募集概要決まる
インタラクティブ部門を新設
ME はより応募しやすくリニューアル

一般社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：高田 坦史）は、今年、54 回目を迎える ACC CM フェスティバル（正式名称：「2014 54th ACC CM FESTIVAL」）の募集概要を決定しました。従来のテレビ CM 部門、ラジオ CM 部門、マーケティング・エフェクティブネス（ME）部門に加え、インタラクティブ部門を新設、また、ME 部門をリニューアルし、より応募しやすくしました。6 月 2 日（月）からエントリーを開始します。

今年度新設するインタラクティブ部門は、一般社団法人インターネット広告推進協議会（JIAA）が実施していた「東京インタラクティブ・アド・アワード（TIAA）」を引き継ぎ、ACC CM FESTIVAL の一部門として実施するものです。

参加対象は、すべてのインタラクティブ広告であり、デジタル・テクノロジーを使ったあらゆる広告的な取り組みとします。具体的には、①広告目的で企画・制作された、インターネット・モバイル・アプリ・デバイス・プログラムなどを使った作品②インタラクティブ領域において、イノベータータイプでマーケティング効果の高い実施事例③自社サイト、自社アプリなど顧客と企業とのコミュニケーション施策—など、多岐にわたります。2013 年 4 月 1 日～2014 年 6 月 30 日の間に世に出たものを対象とし、インタラクティブ領域において、広告の未来を指し示すヒントとなるものを幅広く募集したいと思います。

審査委員長は北風 勝氏（博報堂）。他、10 名の審査員が審査を担当します。

ME 部門は、エントリーシートを簡素化、またエントリー料も引き下げて、応募しやすくしました。また、審査委員長は、土橋 代幸氏（トヨタマーケティングジャパン取締役コミュニケーション局局长）に務めていただきます。

テレビ CM 部門は、昨年同様、岡康道（TUGBOAT）審査委員長他合せて 10 名が「地域賞」含め、作品を審査します。ラジオ CM 部門では、引き続き、澤本嘉光氏（電通）に審査委員長を務めていただきます。

エントリー期間は 6 月 2 日（月）～7 月 1 日（火）。審査会を経て、9 月 25 日開催の理事会で承認されたのち、記者会見及びホームページで入賞作品を発表します。

各部門の審査員とスケジュールの概要は別表の通りです。

以上

この件に関するお問い合わせ先

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5F
TEL 03-3500-3261 FAX 03-3500-3263

ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>

一般社団法人全日本シーエム放送連盟

担当： 小原



<テレビ CM 部門 審査員> (敬称略)

審査委員長

岡 康道

TUGBOAT

クリエイティブディレクター/CMプランナー/コピーライター

小田桐 昭

小田桐昭事務所 クリエイティブディレクター/イラストレーター

佐々木 宏

シンガタ クリエイティブディレクター

佐藤 カズー

TBWA\HAKUHODO エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

澤本 嘉光

電通 エグゼクティブクリエイティブディレクター/CMプランナー

中村 猪佐武

マッキャンエリクソン 制作本部長 エグゼクティブクリエイティブディレクター

永井 一史

HAKUHODO DESIGN

アートディレクター/クリエイティブディレクター/代表取締役社長

古川 裕也

電通 コミュニケーション・デザイン・センター長/

エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

宮崎 晋

博報堂 チーフクリエイティブオフィサー

山田 高之

アサツー ディ・ケイ クリエイティブ・ディレクター/CMプランナー

<ラジオ CM 部門 審査員> (敬称略)

審査委員長

澤本 嘉光

電通 エグゼクティブクリエイティブディレクター/CMプランナー

井田 万樹子

ペープロ CMプランナー

伊藤 春香

ブロガー/作家

今浪 祐介

オフィスクレッシェンド 構成作家

井村 光明

博報堂 クリエイティブ・ディレクター

大久保 佳昭

ビッグフェイス プロデューサー

権八 成裕

シンガタ CMプランナー

嶋 浩一郎

博報堂ケトル 編集者/クリエイティブディレクター

代表取締役社長/共同 CEO

直川 隆久

電通関西支社 CMプランナー/コピーライター

中山 佐知子

ランダムハウス コピーライター&ディレクター

西田 善太

マガジンハウス 編集長 (BRUTUS 編集部)

林屋 創一

エフエム東京 CMプロデューサー/ディレクター

福本 ゆみ

福本ゆみ事務所 コピーライター/ディレクター

三井 明子

アサツー ディ・ケイ クリエイティブディレクター/コピーライター

※ほか、調整中



<ME 部門 審査員> (敬称略)

審査委員長 土橋 代幸 トヨタマーケティングジャパン取締役コミュニケーション局局长

笠原 幸一	オリエンタルランド
樺沢 正人	NTT ドコモ
松本 道夫	ライオン
村上 欣也	明治
木下 一郎	電通
清水 健	アサツー ディ・ケイ
田中 昌宏	大広
能登 健裕	東急エージェンシー
藤井 久	博報堂

新設 <インタラクティブ部門> (敬称略) ※JIAA 協賛

【北風審査委員長メッセージ】

「チャンスと勇気」

21世紀のデジタルメディアはそれまでのメディアでは決して実現しなかった素晴らしいアイデアを次々と可能にしてくれました。そして、発想豊かだけど発展途上な若い人たちにたくさんの「チャンスと勇気」を与えてくれました。今回、ACC賞に「インタラクティブ部門」をつくるにあたって、この「チャンスと勇気」を失わないようにしたいと思います。テレビCMとラジオCMとME部門のすばらしさとはまた違う、クリエイティブが未来に向かう可能性の大きさをより多くの人に示したいと思います。

ACC賞その他全部部門？

審査にあたって重視したいポイントは、“innovation”=「革新性」や“invention”=「発明」。つまり、過去と違うもの、誰も見たことのないものです。そこから何かが始まり、新しい世界が生まれるようなもの。ほとんどすべてのコミュニケーションがデジタルとなんらかの関わりを持つようになった今、アイデアが実現する場所は無限に広がっています。その広がりの中から、大げさに言えば従来の枠組みではほめられなかったアイデアをもれなく全部ほめる勢いです(笑)。領域は「インタラクティブ部門」ですが、気持ちはACC賞「その他全部部門」です。

審査委員長 北風 勝 博報堂 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター

角田 陽一郎	TBS テレビ
佐々木 康晴	電通
菅野 薫	電通
須田 和博	博報堂
高野 文隆	アサツー ディ・ケイ
次田 寿生	パナソニック
中村 洋基	PARTY
福田 敏也	777 Interactive (トリプルセブン・インタラクティブ)
本間 充	花王
真鍋 大度	Rhizomatiks (ライゾマティクス)



<スケジュール概要>

エントリー受付・ 素材受付	6月2日(月)～7月1日(火) (テレビ/ラジオ/マーケティング・エフェクティブネス/インタラクティブ)
審査会	テレビ・ラジオ地域審査会(全国7ヶ所):8月上旬～8月中旬 全国審査会:【テレビ】9月1～8日(一次審査)、18日、19日 【ラジオ】9月1～5日(一次審査)、11日、12日 【マーケティング・エフェクティブネス】9月中旬 【インタラクティブ】8月下旬(オンライン審査)9月12日
入賞作品発表	9月25日(木) 記者発表の後、17:30ごろホームページにて 全入賞作品リストを掲載致します。
贈賞式・ 記念パーティ	10月31日(金) 時間未定 ※決定次第ホームページにてお知らせいたします。 【贈賞式】 会場 有楽町朝日ホール 東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F 【記念パーティ】 会場 帝国ホテル (東京) <富士の間> 東京都千代田区内幸町 1-1-1 本館 3F
入賞作品発表会	東京発表会 11月14日(金) 会場 有楽町朝日ホール ほか、全国にて実施します。

以上